

「箱根町学校施設の長寿命化計画（素案）」に対する意見募集（パブリック・コメント）実施結果

◆意見の募集期間 平成 30 年 12 月 21 日（金）～平成 31 年 1 月 19 日（土）

◆提出意見数 3 件（1 名）

NO	項目（該当箇所）	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	<p>4 ページ 児童・生徒数が減少しても統廃合せずに</p> <p>10 ページ 児童・生徒数及び学級数の推計</p>	<p>P.10 児童数の推計一覧表の数値を今一度、現時点で把握しているものと対比して頂き、過去 10 年間で 150 人近く減少している現状から統廃合も視野に入れ計画して頂いた方が良いと思われる。</p>	<p>現時点の年少人口を単純に増減なしで 10 年経過した場合の数値と本計画の推計値を比較すると少なからず誤差が生じますが、児童・生徒数の推計方法は、町の人口ビジョンの策定でも使用しました国立社会保障・人口問題研究所の「変化率法」を使用しており、上位計画との整合性をとる必要があることから、この方法により推計しています。</p> <p>箱根町第 6 次総合計画では、地域教育において、地域の特色を活かした園・小・中学校一貫教育（分離型）を推進することを町の今後の取組方針としています。また、学校は地域コミュニティの中心的存在であり、現在の 3 小学校、1 中学校は児童・生徒数が減少しても統廃合せずに箱根教育を推進することとしています。</p> <p>少子化による児童・生徒数の減少に伴う学校施設の統廃合は全国的な問題であり、様々な見方・考え方があります。本計画は、10 年毎に見直しを行うことから、その時の実情に応じた計画にしていきます。</p>

NO	項目（該当箇所）	意見の概要	意見に対する町の考え方
2		<p>施設の使用目的として、学校施設以外に地域の活用場、防災面を重視した使用法を取り込んだ改修を考えて頂いたらと思います。</p>	<p>学校施設以外の地域の活用場、防災面を重視した使用法においては、本計画5ページの「学校施設の目指すべき姿」に地域活動の拠点施設としての施設整備（地域との連携の充実）の項目があり、「学校施設は、地域住民にとって最も身近な施設であり、生涯にわたる学習・文化・スポーツ等の活動の場として利用されるほか、地震等の非常災害時には、避難所としても重要な役割を担っているため、必要に応じて他の文教施設や高齢者福祉施設との連携の推進や防災機能の強化を図ります。」と記載しております。</p>
3	<p>8 ページ 児童・生徒数及び学級数の変化</p> <p>47 ページ 個別施設の整備優先順位表</p>	<p>湯本小学校において改修工事の必要性がせつ迫しているが、生徒数の減少も著しく、単に校舎等の改修のみにとどまらず、箱根の環境を活かした温泉を利用した教育、支援の必要な子供達を受け入れられる施設を考えて頂いたらと思います。</p>	<p>本計画は、町の学校施設を対象に今後の中長期的な施設整備の見通しを示すもので、整備内容や時期、費用等を具体的に示す計画であります。</p> <p>温泉を利用した教育は、統合前の旧温泉小学校において行われていたものですが、温泉供給会社の無償提供により成り立っておりましたので、ご意見は、今後、改修等を行う際の参考とさせていただきます。</p> <p>支援の必要な子ども達を受け入れられる施設については、不登校となった児童・生徒が学校に通うことができるように支援する「教育支援室」や、0歳から18歳までの教育に関する相談を受ける「教育相談センター」を既に整備しています。また、来年度からの取組として、通常学級に在籍する児童がコミュニケーション能力向</p>

NO	項目（該当箇所）	意見の概要	意見に対する町の考え方
			上のため、特別な指導を受けることができる通級指導教室を各小学校に開設することにより、支援の必要な児童・生徒に対する対策をさらに充実させていきます。